

中学校第3学年 道徳学習指導案

期 日 平成28年10月27日(木) 第5校時
場 所 南小国町立南小国中学校 3年1組教室
指導者 教諭 田上 茉依

1 主題名

「将来の働き方」 C [勤労]

2 資料名

「万田坑と共に」(道徳教育用郷土資料 熊本の心)

3 主題について

(1) ねらいとする内容項目(価値)について

本主題は、内容項目C「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。」を受けて、勤労の意義についての学習を行う。

今日、職業や勤労に対する価値観が多様化する中においても、勤労は人間生活を成立させる上で、大変重要なものである。「勤労」とは、自分の務めとして心身を労して働くことである。勤労や奉仕を通して社会に貢献することを自覚し、充実した生き方を追求していくことで、一人一人の真の幸福につながっていく。

中学生の時期は、将来の生き方について自分の目的のためや、仲間と一緒にする仕事には意欲的に取り組むが、集団での仕事などは嫌う傾向にある。一方、中学3年生としては自分の進路や職業について関心が高くなる時期である。そこで、ユネスコ世界文化遺産である万田坑でボランティアとして働いている方々の生き方を通して勤労の貴さや意義について考え、勤労や社会奉仕の喜びが自分自身の充実感につながることを感じ取り、働くことへの理解と共に職業についての好ましい考え方を育てることは意義深いことであると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は落ち着いており、男女仲が良く、班活動などは活発に行うことができる。進路選択の前に、授業への意識は二極化しており、何事も一生懸命頑張ることを面倒だと思う生徒も多い。主題に関わるアンケートは以下の通りである。(24人回答)

- | | | |
|--|---------|--------|
| ①あなたは将来就いてみたい職業(仕事)はありますか。 | ある(18人) | ない(6人) |
| ②「ある」と答えた人はどんな職業ですか。 | | |
| ・教師 ・看護師 ・調理師 ・アニメーター ・ゲームプログラマー ・建築系 | | |
| ・ウェディングプランナー ・保育士 ・機械をさわる仕事 ・海外で働きたい | | |
| ③「ない」と答えた人はどうしてですか。 | | |
| ・まだよく分からない ・将来のことについてあまり考えたことがないから | | |
| ・目標がまだはっきりしていない ・やりたいことがない | | |
| ④人は何のために働くと思いますか。(複数回答) | | |
| ・生活するため(7人) ・お金を稼ぐため(6人) ・家族を養うため(5人) | | |
| ・生きていくため(3人) ・自分のため(2人) ・誰かの役にたつため(1人) | | |
| ・自分の夢のため(1人) ・仕事で何かを学ぶため(1人) | | |
| ⑤あなたは将来どんな仕事に就いてみたいです。 | | |
| ・自分の好きな仕事(9人) ・楽しい仕事(5人) ・人のためになる仕事(3人) | | |
| ・給料がたくさんもらえる仕事(2人) ・特技が活かせる仕事(1人) ・厳しくない仕事(1人) | | |
| ・楽な仕事(1人) ・ずっと続けられる仕事(1人) | | |
| ・きついけどみんながまとまる仕事(1人) | | |

将来就いてみたい職業を見つけている生徒が多い反面、まだ将来就きたい職業を見つけていない生徒も3割ほどいる。職業を見つけている生徒はその夢に向かって日々の活動も一生懸命に頑張る傾向にある。人は何のために働くのかという問いには、生活するため、お金を稼ぐためと答えた生徒が全体の半数近くいた。また、家族のため、生きていくためと答えた生徒も、お金を稼ぐことで家族を養ったり生活をしていくためだと答えている生徒が多い。一方で、誰かの役にたつため、仕事で何かを学ぶためと他者のことや自分の成長のことを考えている生徒も数名いた。将来どんな仕事に就いてみたいかという

問いに対しては、自分の好きな仕事や楽しい仕事と答える生徒が多く、給料がたくさんもらえる仕事や楽な仕事、厳しくない仕事と答える生徒もあり、楽にお金を稼いで自分の好きなことをするために働きたいという傾向にある。今回の授業では、勤労にはその人の「生きがい」であったり「充実感」を得るためであることに気づかせることで、将来の自分の生き方について深く考えることができるようにしていく。

(3) 教材について

本教材は、国指定重要文化財であり、「九州・山口の近代化産業遺産群」の施設の一つとしてユネスコの世界文化遺産に登録されている三池炭鉱旧万田坑について、ガイドを務めている方の話をまとめたものである。ここでは、炭鉱労働の厳しさと共に、労働に対する思いや、退職後もボランティアを続けている理由や願いをガイドの方の経験を通して語られている。

労働の大変さと共に労働によって仲間を守り社会が発展していくことについて考えさせることで、生徒一人一人が働くことの意義を感じ取り、自己実現を図りながら、社会の形成者として自らも労働や社会奉仕に取り組もうとする心情を培うことができる資料である。

(4) 指導にあたって

- 導入においては、事前アンケートの結果を見せることで、今現在の生徒が仕事に対して持っているイメージや、どのような仕事に就きたいのかということと共有させ、ねらいとする内容項目への方向付けを行う。
- 資料提示においては、世界遺産に登録された万田坑を紹介し、そこで働く人達の写真を提示する。また「熊本の心DVD」を前半と後半に分けて視聴させる。前半は厳しい環境の中で炭鉱で働いている人達に思いを考え、働くことの厳しさやきつきについて触れ、後半はさらにその思いを深めていく。
- 中心発問では、熊本の心DVD後半部分のガイドさんの「自分の仕事一つ一つが世のため人のためになるんだ」という言葉から、前半で自分が考えた思いと重なる部分や違った部分に注目させながら、働くなかでの達成感や責任感、自分が役に立っているという充実感に着目させる。
- 自分の将来の生き方について考える場面では、生徒の身近な人にインタビューした動画を見せ、様々な人の「働く意義」を知ること、将来の自分の生き方について考えるきっかけを作る。また自分が将来働くときに大切にしたいことを付箋に書き、その後班でKJ法を用いて意見を出し合い、他者の意見を聞く場を設定することで、多面的・多角的な見方や新たな考え、発見につなげられるようにする。
- 終末においては、万田坑の実際のガイドさん動画を見せ、「万田坑の建物だけではなく、万田坑で働いた人達こそが世界遺産だと思う。」という言葉や万田坑で働いておられる写真を通して、この時間に考えた思いを温める。

学びを引き出す
学習活動を生む
「問い」の工夫
(言語活動の充実)

- ❶導入では事前アンケートの結果から、めあてに迫るテーマ発問を設定することで、主体的・協働的な学びを引き出す。
- ❷自分の考えをワークシートに書いた後、班活動の中で他の人の考え方に触れ、多面的・多角的な考えに触れる場を設定する。

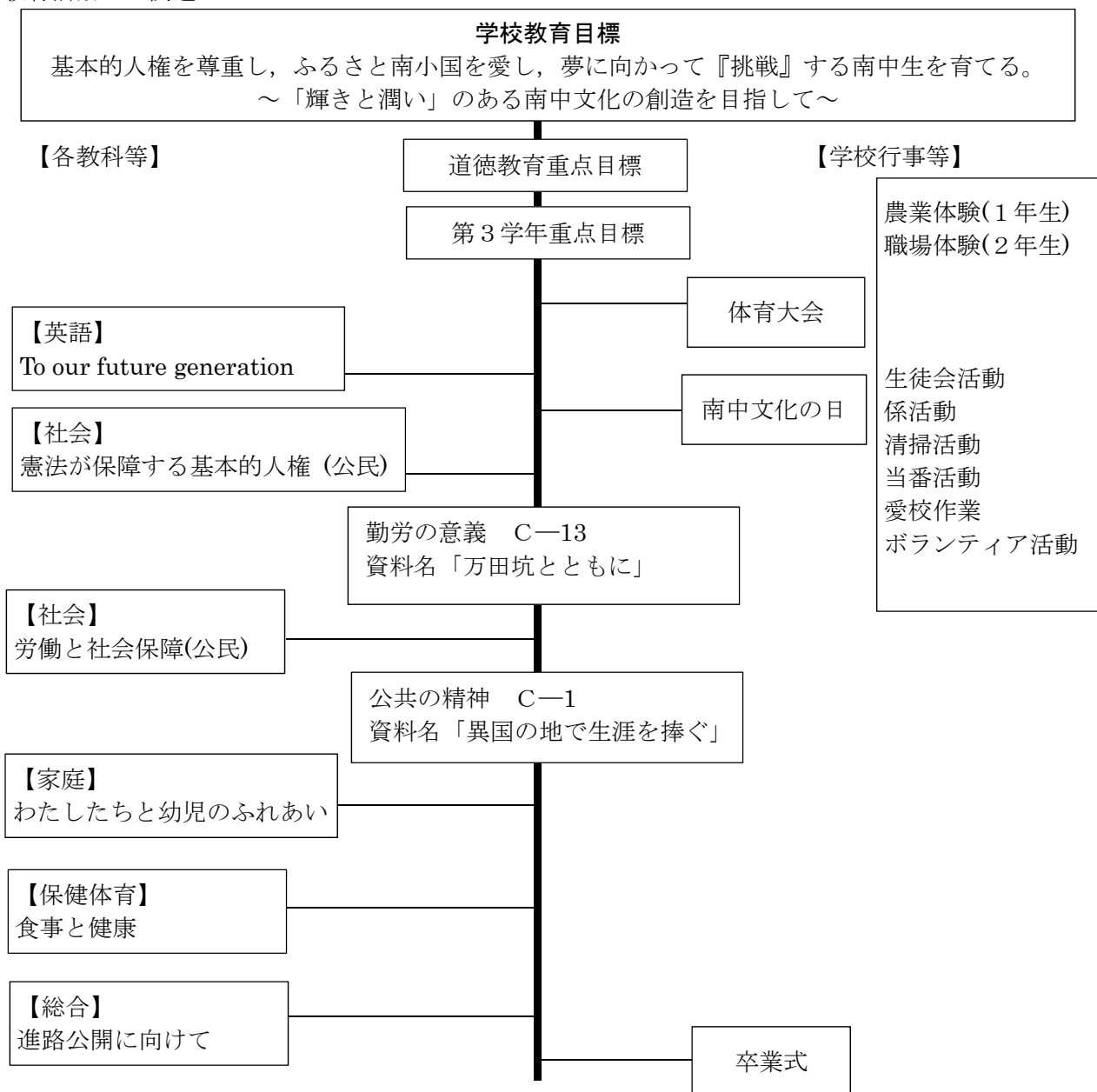
学びを振り返る
思考過程の可視化と
学びの振り返り

- ❸事前アンケートの結果や、発問の中で出てきた生徒の意見を適切に整理し、生徒の思考過程が分かるような板書を行う。
- ❹自分が将来働くときに大切にしたいことを付箋にたくさん書き出し、班の中でKJ法を用いて意見を出し合いながら共有することで、思考ツールとして活用する。

学びを支える
学びのUD化とICT
の活用及び支持的風土

- ❺発問の精選を図り、生徒が意見を考えたり交流したりする時間を十分確保する。
- ❻ICT機器を効果的に活用し、資料提示の際は、生徒の興味関心を高めるためにDVDを視聴させ、身近な人々のビデオや万田坑のガイドさんの講話を視聴することで思いを温める。

4 各教育活動との関連



5 本時の学習

(1) ねらい

万田坑で働いていた人々の思いやその後の生き方を通して、勤労の大切さを多面的・多角的に理解し、自分の将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする道徳的実践意欲を高める。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と生徒の反応	指導上の留意点及び評価	備考
気づく 2分	1 アンケートの結果から自分が就きたい仕事について振り返る。	○どんな仕事に就きたいですか。 ・自分の好きなことや特技が活かせる仕事。 ・楽しい仕事。 ・給料がたくさんもらえる仕事。	○事前アンケートの結果を紹介し、他の人の考えを知ることができるようにする。 ○掲示物はグループ分けしたものを作成し、生徒がどのように考えているのかを分かりやすくする。	掲示物
自分が将来働くときに、大切にしたい思いは何だろう。				
深める 20分	2 資料 DVD「万田坑とともに」を見て考える。 (1) 前半部分を視聴する。 (2) 後半部分を視聴する。	○炭鉱で働く人達は、どんなことを考えながら働いていたのだろう。 ・きついな。 ・生活していくためだから我慢。 ・自分たちが産業を支えていくから頑張ろう。 ◎「自分の仕事一つ一つが、世のため人のためになるんだ」という言葉には、どのような思いがこめられているのでしょうか。 ・自分の仕事を誇りに思っている。 ・みんなのために役に立っていると充実感。 ・働くことは大変なことだけど、やりがいを感じている。 ・日本の成長を支えている責任感。 ・自分が成長するために頑張ろうとしている。	○万田坑について紹介する。 ○「熊本の心 DVD」の前半部分を視聴し、実際の万田坑の様子や働いている様子を見て、炭鉱で働いていた人達の思いを考えさせる。 ○「熊本の心 DVD」の後半部分を視聴し、前半で自分が考えた思いと比較し、ガイドさんの言葉や働く姿から、社会貢献の視点に気付かせる。 ○書き終わった生徒から、他の生徒と交流させ、考えを深めることができるようにする。	電子黒板 DVD 電子黒板 DVD ワークシート
見つめる 26分	3 ビデオレターを視聴し、自分自身の中にある勤労観を見つめ直す。 4 自分の将来の生き方について考えを深める。	○自分が将来働くときに大切にしたい思いは何だろう。 ・充実感や達成感をもちたい。 ・社会や人の役にたちたい。 ・自分が成長していきたい。 ・何でも簡単に投げ出さず、忍耐力をもちたい。 ・生活できる収入を得たい。 ・家族のために働きたい。 ○あなたは将来どんな思いを大切にしたいのか、感じたことや考えたことを書きましょう。	○ビデオレターは生徒にとって身近な人に働くことについてインタビューした動画を見せ、自分自身を見つめ直すきっかけにする。 ○個人で考えたことを付箋に書き、その後班の中で意見を出し合いながら共有させる。 ○他の班を見て回る時間を設け、すべての人の考え方に触れさせる。 ○他の班を見て回る時には、自分たちの班では出なかった意見に着目し、付箋を貼らせる。 ○個人でじっくり考える時間を設ける。	電子黒板 付箋紙 発表ボード ペン 付箋
あたためる 2分	5 万田坑のガイドさんの動画を視聴する。	○万田坑のガイドさんの話を聞いてみましょう。	○万田坑の実際のガイドさんにインタビューし制作した動画を視聴させ、この時間に考えた思いを温める。	電子黒板
【評価】（観察・ワークシート） 万田坑で働いていた人々の思いに共感し、勤労の大切さを多面的・多角的に理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする道徳的実践意欲を高めることができたか。				